

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

ガバナー月信 | 2016-17年度
国際ロータリー第2790地区(千葉県)



Rotary Serving Humanity

基本的教育と識字率
の向上月間



Ohara Hadaka Matsuri

CONTENTS

ガバナーからのメッセージ.....1	識字率向上月間特集.....6
「クラブ研修リーダー・セミナー」が開催されました.....2	米山梅吉記念館便り.....7
ロータリアンは青少年の模範.....3	米山記念奨学会ニュース197号.....7
青少年健全育成.....3	コーディネーターニュース2016年9月号.....7
今年度のインターアクトの事業展開について.....4	文庫通信 347号.....8
会員拡大の基礎づくり.....4	叙勲・褒章・表彰／寄付者／新ロータリアン.....8
高校生を親善大使に！.....5	出席・会員数報告、ロータリーレート.....10
新設された「学生会委員会」.....5	

2016年 **9** Sep.
月号

COPY FOR MEMBERS
発行／2016年9月1日

VOL.3

地区行動指針「感謝と挑戦」

*Pursuing activities
sharing The Appreciation*



ガバナー公式訪問合同例会(松戸・松戸北RC)

——— 青少年奉仕月間に思う (ガバナー月信第3号) ———

新年度が始まり2ヶ月経ち、私は、7月27日の松戸・松戸北RC合同例会を皮切りに公式訪問が続く毎日です。クラブ間情報共有化の場にするようにとのジャムRI会長の示唆もあり、今年度公式訪問は83クラブ中54クラブが2、または3クラブ合同です。質疑応答中心のクラブ協議会を通じ、種々の課題解決に皆さんと一緒に取組んでまいります。

さて、今月は、新世代のための月間です(新世代の対象は広いため、2013年規定審議会で青少年奉仕に改称されましたが、未だ新世代と青少年が混在しています)。

ロータリーがスタートした翌1906年に制定されたシカゴRC定款の基本は、相互扶助・親睦でした。1907年のドナルド・カーター加入を期に奉仕の取組が始まり、1908年冬、寒さに震える新聞少年を例会に呼び入れて売れ残った新聞を買取る等したのが青少年奉仕活動の始まりとの説があります。しかし、国際RC連合会に「青少年活動委員会」が設立された1916年、また、1927年の機構改革で4大奉仕(クラブ・職業・社会・国際)が確立された折、社会奉仕に「青少年奉仕活動部門」が設置されたのが、青少年奉仕の始まりと言われています。その後、RI理事会が1940年に青少年奉仕の目標を定め、また、1949年に「ロータリアンは青少年の模範」とのスローガンを採択したことで、青少年奉仕活動が活発化しました。

1962年に米国でインターアクトクラブ誕生(日本では1963年6月の仙台育英学園高等学校が初)、1968年ローターアクトクラブ発足、

1970年R.Y.L.A.(ロータリー青少年指導者プログラム)採択、そして、RI理事会が1974年に青少年交換をRIの構成プログラムに認定したことで、今日の青少年奉仕プログラムが形作られました。

青少年奉仕には、青少年奉仕委員会管轄のインターアクト・ローターアクトクラブ、青少年交換、R.Y.L.A.だけでなく、R財団の地区・グローバル奨学生及びロータリー平和フェロー、並びに米山奨学生も含まれます。従って、RIの指導もあり、今年度は全ての青少年プログラム卒業生を地区として一括管理すると共に、横の連携を構築する学友会委員会を独立組織としました。

青少年の健全な育成は、ロータリーが目指す重要な活動の1つで、地区委員会活動費の5割強が青少年奉仕委員会に割当てられると共に、R財団の地区・グローバル奨学生、R平和フェロー、並びにR米山記念奨学生等の奨学金総額は多額です。

しかし、インターアクト13校、及びローターアクト4つのスポンサークラブ、R.Y.L.A.セミナー参加クラブ、並びに奨学生の派遣・受け入れクラブを除くと、青少年奉仕活動に対する会員の知識・理解は十分でないと思います。

今年度は、米山奨学生の世話を未経験クラブ中心にお願いする等、青少年奉仕活動に対する皆さんの理解を高めると共に、受益者にロータリー公共イメージ向上の一旦を担っていただく、また将来ロータリアンとして活躍してもらう等の仕組造りに取組んでまいります。



「クラブ研修リーダー・セミナー」が 開催されました

ロータリー研修委員会
副委員長 諸岡 靖彦 (成田RC)

ロータリー研修委員会とRLI小委員会が担当して、奉仕プロジェクト統括委員会(堀内正一統括委員長)との連携で、「クラブ研修リーダー・セミナー」が7月30日(土)千葉市民会館で開催されました。

土屋俊夫委員(成田空港南)の司会進行のもと、青木ガバナーは、「当地区の会員数減少に歯止めがかかったとは言え高齢化が進むなかで、若い世代の会員の力強い増強が進んでいる訳でもない今現実の課題として、現会員の増強、殊には入会5年未満の会員を真のロータリアンに引き上げてゆくことが今各クラブに求められている。教育の現場で、active learningと称する参加型の学習が推奨されているが、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)が進めている少人数のテーブル・ディスカッションの学習方式は、知識欲求と実践能力を効果的に刺激するので、期待している。」というメッセージを寄せられました。

つづいてロータリー研修委員会・諸岡より、映像資料を用いて『これからのロータリーを考える』20分の基調発表をいたしました。その主旨は①ロータリーとは思想であり、個々のロータリアンの人生哲学を磨く場である。②ロータリーの中心思想は奉仕の理念ideal of Serviceと、これを支える親睦Fellowshipの精神である。〈奉仕活動を共にすることができる同志〉fellowをつくる仲間づくりがロータリーの親睦である。③奉仕、親睦に加えて、多様性Diversity, 高潔性Integrity, リーダーシップLeadershipがロータリーを導く中核的価値観である。④会員の平等を大切にするロータリーのLeadershipとは、自分の立場をわきまえて、主体的に効果的に行動できる能力のことを言う。⑤例会は、こうしたロータリーの理念と奉仕の心を育み、磨く自己啓発と学びの場である。⑥ロータリー研修委員会とRLI小委員会の役割はロータリーの基本理念とリソース(資源)の理解のために、奉仕の実践に役立てられる学習のお手伝いをする事である。

第2部は10人編成の8テーブルに分かれて、30分のテーブル・ディスカッションを3回行いました。1回目のテーマは〈ロータリーの魅力とは?〉、2回目は〈我がクラブはこうありたい!〉、3回目は〈こうすればクラブは元気になる!〉でした。各テーブルのファシリテーター(進行役)はRLIで実践研修を積んだDL(ディスカッション・リーダー)の資格認定を受けたロータリー研修委員、RLI小委員及び奉仕プロジェクト委員が務めました。参加されたクラブ研修リーダーの皆さんは、どんなインスピレーションを得られたでしょうか!

第3部は再び全体会議として、海寶勘一RLI小委員長(千葉西)が進行役となり、参加者から日頃の各クラブの実情や実感、意見とロータリー観の交流がありました。白鳥政孝研修リーダーからは辛口の講評をいただきました。「仲間との意見の食い違いや見解の相違には対話が欠かせない。お互いの相違を知り、認め、共同の奉仕や事業の輪を広げてゆくこと、多様性を認め、多様な仲間をつくる。新しい可能性と自分の世界を拓けることに前向きであって欲しい。例会に、奉仕活動に積極的に参加して、研鑽し、人間性を磨いてゆくことに貪欲であって欲しい。こうした大切な目標を持つ本日のセミナーでありながら、狭い会場しか用意できなくて申し訳なく思う…」と、主催、運営側の反省点にも触れられました。

今回の基調発表の映像資料『これからのロータリーを考える』は、地区ホームページのロータリー研修委員会のページに公開されています。各クラブの研修テキストとして活用していただきたいと思います。

10月から分区毎に開催されますガバナー補佐が主催する「ロータリー情報研修会」は、入会5年未満の会員を主たる対象とした学習会です。全体学習でロータリーの基礎をおさらいして、小グループのテーブル・セッションを実習して、各会員に、各クラブにロータリーへの参加の動機づけを図ります。さあ、一緒に考え、行動してまいりましょう!



ロータリアンは 青少年の模範

奉仕プロジェクト統括委員会
統括委員長 堀内 正一 (木更津RC)

国際ロータリーは1923年のセントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年活動について討議されて以来、「**ロータリアンは青少年の模範**」という標語を掲げ、それを尊重し行動する事を推奨しています。

青少年奉仕では“指導力育成活動”、“社会奉仕プロジェクト”、“国際奉仕プロジェクトへの参加”そして“世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクト”を通じ、青少年によって好ましい変化がもたらされる事が期待されています。

それを受けて2016～17年度奉仕プロジェクト統括委員会は、青少年奉仕委員会のローターアクト小委員会、インターアクト小委員会、ロータリー青少年交換小委員会、R.Y.L.A.小委員会、そして新設された学友会委員会と共に互いに連携し、より効果的な奉仕活動をする事と致しました。

今年度はインターアクトが50周年、R.Y.L.A.が40周年を迎えます。また、青少年交換事業は1962～63年度のスポンサークラブだった市川ロータリークラブが1972年のRI理事会推奨に先駆けてオーストラリアへ留学生を派遣しています。この様に当地区の青少年奉仕事業は、ローターアクトと共に大変歴史と伝統のある、最も重要な奉仕活動の一つとなっています。

しかしながら近年、当地区では青少年交換学生の応募の減少、またインターアクト、ローターアクト提唱クラブの減少、更にはR.Y.L.A.セミナーの参加者が減少しています。このような危機的状況の中、青少年奉仕委員会は4つの委員会と学友会委員会が互いに連携し、ロータリアンが青少年と共に参加したくなるような魅力あるプログラムを積極的に立案、実行してまいります。

その活動により、青少年との間の年齢ギャップを埋める事に効果をあげ、相互理解が生まれ、未来のロータリアンの育成に成功し、ひいては地域の広報活動にも繋がって行くことを確信しています。

以上のことから、一人でも多くのロータリアンが青少年奉仕活動へ参加され、「**ロータリアンは青少年の模範**」の標語に基づいて活動されることを、ここに期待しお願い申し上げます。



青少年健全育成

青少年奉仕委員会
委員長 齋藤 豊久 (勝浦RC)

ロータリアンの皆様には常々青少年奉仕活動にご理解を賜り誠に感謝をしているところであります。

また、青少年奉仕委員会の活動は、多種多様であります。

1 インターアクト小委員会

12歳～18歳の青少年、インターアクトクラブ会員は、高校生を中心として、主に地域の社会奉仕活動を行っています。

2 ローターアクト小委員会

18歳～30歳までの青年たちの、ローターアクト会員は社会奉仕活動を始めとして、自己研修・自ら考え・行動・学ぶことを行っています。

3 ロータリー青少年交換小委員会

高校生を対象にて、当地区と国外他の地区との交換留学を行っています。長期交換は約1年、短期交換は約40日間の派遣・受入れにて、他国の文化、習慣、感情等を学び、国際理解を深めることにより、親善大使の使命を担って取り組んでいます。

4 R.Y.L.A.小委員会

12歳～30歳までの青少年に、将来のリーダーと成りうるべき技量を体験・会得の練習をさせ、素質を引き出す術の研修を行っています。

青少年奉仕委員会の四部門各小委員会共通の活動として、少年・青年たちが活動するとき、周りの状況確認・百聞は一見に、活動方法はどのように行うか。

青少年が生活する中に於いて、不安・緊張・欲求不満なく・感じた事、また自由に表現し、青少年が持つ能力を発揮出来るように、活動を手助けすること。

青少年の持つ能力、可能な知識・技術の習得、その知識を利用して、社会に適応出来るようになること。問題に直面した時には、自分自身の持っている知識を利用して解決できる力をつけること。

行動プランの策定、そして行動の実行・肌で触れ、肌で感じ取る感覚。間違いを起こさないように指導していくことが青少年に対する健全育成であると思います。

人は時として、年齢に関係なく間違えることがあります。間違えたことを恥じず・恐れず・隠さず、間違いから学ぶことが、団体・共同活動を行うには大事なことである。

また、それぞれのロータリークラブ、それぞれのロータリアンとして、青少年の健全育成が使命であると思われれます。



今年度のインターアクト の事業展開について

インターアクト小委員会
委員長 森田 雅久(松戸RC)

インターアクトクラブは、12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕組織として、奉仕の精神と国際理解を青少年(新世代)に付与するために設立され、本年度は第2790地区内14ロータリークラブが提唱(スポンサー)する高等学校14校の生徒(インターアクター)が活動しております。

年に一度、第2790地区内インターアクターが一同に集まる「インターアクト年次大会」は、木更津総合高等学校(木更津東RC提唱)が主体となり、本年8月3日(水)に第50回目となる記念すべき大会を開催しました。

当日はメインテーマに「繋 ～ 広げる・深める・結ぶ～」、「震災を考える」をサブテーマにしたワークショップ(ミュージカル研修)をおこない、参加されたインターアクター、高校生が様々な感動を得られる場となりました。

奉仕の精神を国外の同世代の青少年と共有することを目的に11月11日から3泊4日で実施する「インターアクト国外研修」は、昨年と同じ台湾(台北市)を訪問させていただきます。

今年度の国外研修は国際ロータリー第3520地区のインターアクターとの協働による「日台合同青少年奉仕事業(河川清掃)」の実施、台北福安国民中学校が開催する学園祭への参加、社会見学としては、台湾テレビ局(SET三立電視)や李登輝学校への訪問などを企画しております。参加される方々にとって、一生の思い出となる事業を目指しております。どうぞご期待ください。

また、来春に予定する「インターアクト指導者講習会」は、千葉黎明高等学校(八街RC提唱)が主体となり、指導者育成を目的とした奉仕事業を企画しております。

2016-17年度インターアクト小委員会は、インターアクト提唱クラブ以外のロータリアン、インターアクター以外の青少年にも参加いただける事業を実施し、次代を担う青少年のための新たな青少年奉仕活動を模索して参ります。



会員拡大の 基礎づくり

ロータリーアクト小委員会
委員長 佐藤 康弘(千葉RC)

今年度ロータリーアクト小委員会は、会員増強並びに、委員会の存在意義を確認にしながら行動しています。会員減少を食い止めるのは現在の社会状況からしても非常に大変な問題です、ロータリーアクト小委員会ではオブザーバーの参加しやすい事業を増やし、会員の募集を心がけています。8月の事業は館山ロータリークラブのご協力のもと27日～28日に地区研修会を開催しました。28日は館山市役所職員の方に協力していただき、館山市、行政の現状の問題、対策などについての講演をいただき、研修をしました。29日は館山の北条海岸、名護海岸にてマリンスポーツ、BBQなど、若者が興味を持ち、参加したくなるような事業運営を福留地区代表と協議し運営しました。9月の青少年の集いには推理ゲームなどを行い各アクターとの交流を深め会員拡大の基礎をつくりたいと思います。

今後、沢山の事業がありますが、オブザーバー参加のできる運営を心がけますので、会員のご紹介、参加お願いいたします。



高校生を 親善大使に！

ロータリー青少年交換小委員会
委員長 諸佐 博(小見川RC)

語学が目的でなく親善大使として高校生を海外派遣するプログラムです。日本では50年以上行われているガバナー直轄の重要なプロジェクトです。

長期と短期の2つのプログラムがあります。対象は出発時に高校生となります。長期は最長1年間、派遣先の高校に通い、2軒以上のホストファミリーと生活を共にし、受け入れクラブの例会や毎月のオリエンテーション、地区の行事などロータリー活動に参加したりします。

短期は交換相手の高校生とお互いの家庭に約1カ月間ずつホームステイします。例えば、相手の交換生が先ず日本の交換生宅に1カ月滞在したあと、二人一緒に相手国に行き相手のお宅に約1カ月間滞在します。交換派遣の期間は長期で1年、短期で2カ月ですが、実際には9月の選抜試験から翌年の7月まで、毎月のオリエンテーションなどかなり前からプログラムが始まり、学生の帰国報告まで続きます。又、帰国後はROTEXの一員として活躍して頂きます。

物事に柔軟に対応し、新しいことに挑戦する意欲を備えている若い世代が異文化に直に接し学ぶことは、生涯にわたる国際的活躍のきっかけとなるなど、如何に大きな意義があるかを強く認識しています。グローバルな経験、視野を広げ、友情を育むことは、日本に対する理解も深まり、交換生本人の学業面、人間的成長ばかりでなく、受け入れクラブ、地域社会にも同様の豊かさをもたらす結果となります。それが、ロータリーの核心である「親善と平和」への確実な道標の役目を果たしていると言えます。

上記の通り青少年交換の重要性は極めて高く、地区・スポンサークラブ共に得られる実りが大きい分だけ大変な面もあります。次世代のグローバル人材育成のために、ぜひスポンサークラブになって若者を応援して頂きたいとどうぞ宜しくお願い申し上げます。



新設された 「学友会委員会」

学友会委員会
委員長 酒井 秀光(茂原RC)

学友会委員会は青木ガバナー年度で新設された委員会です。

目的はロータリーファミリーの一員であるロータリー学友とクラブを結びつけ、末永い関係を築くための支援をするのが地区学友会委員会の役割です。また、地区内の学友会の監督にもあたります。

以下のプログラムへの元参加者が「ロータリー学友」と呼ばれています。

- インターアクト ●ローターアクト
- ロータリー青少年交換 ●新世代交換
- ロータリー青少年指導者養成プログラム(R.Y.L.A)
- ロータリー平和フェローシップ
- ロータリーの奨学金(グローバル補助金、地区補助金)
- 米山奨学生

①地区学友会委員会は主に以下の責務を担います。

- ・学友がロータリーと末永い関係を保てるよう、学友との協力方法を会員に知らせる。
- ・ロータリーのウェブサイトMy ROTARYでアカウント登録するよう学友に促す。
- ・ロータリーのプライバシー方針と青少年保護方針、各国の法律が順守されるよう確認する。
- ・学友行事と学友会を支援し、調整を図る。

地区の会員増強委員会、ロータリー財団委員会、青少年奉仕委員会などと協力して、地元の学友を見つけ、学友の特別なスキル(パブリックスピーキングなど)、職業・専門分野、クラブへの入会や財団への寄付の可能性を把握するよう努めます。

②委員会は、以下のクラブ活動を支援します。

- ・現在のプログラム参加者と強力な関係を築く。
- ・学友とのつながりを深め、将来クラブに入会してもらうことを視野に入れた計画を立てる。
- ・学友の存在を会員にアピールする。
- ・学友を集めて新クラブ(webクラブ)を推進する。
- ・入会できる時期が来るまで、若い学友との連絡を保つ。
- ・学友にほかのプログラムへの参加を促す。
- ・学友にクラブ・地区活動への参加を促す。

③学友行事を開きます。

学友同士が再会し、ロータリー会員と交流できる行事を企画し、現時点で学友がロータリークラブに入会したり、財団へ寄付したりできなくても、こうした行事を通じて学友を歓迎し、交流関係を築けば、末永くつながりを保つことができるでしょう。

地区補助金を活用してラオス国への支援を!!

千葉港RC (第3分区B)

当クラブが地区補助金を活用して海外支援を企画したのは、2014年に30周年を迎えるにあたり記念事業として提案されたからです。ラオス国の選択については、多くの東南アジアの中でも後発発展途上国であり、識字率も低く人口も700万人程度と少なく、教育、教育施設等に手が回らない状況にあり、支援するにふさわしい国であると判断されました。

1. (2014年度のプロジェク) 5か所の小学校へ390人分の椅子と机を寄贈

ラオスにてボランティア活動している知人より、最も貧しい地域(サラワン県)の小学校で机と椅子が不足しているという情報を得ることが出来ました。早速、地区補助金の申請を行い、現地にて合計130セット(3人かけ)390人分の椅子と机を製造し、5か所の小学校へ寄贈しました。2014年9月に現地視察、譲渡セレモニーが当会員5名が参加し行われました。このことはラオスの新聞にも大きく報道されました。

2. (2015年度のプロジェク) 58の小学校へ117枚の黒板を寄贈

2年目は、現地視察の際、黒板がかなり傷んでいることに気付き、現地にて黒板を製造してサラワン県・カンムワン県の合計58か所の小学校へ117枚寄贈することができました。

3. (2016年度、3年目のプロジェク) 2か所の教室改装と図書寄贈

今年度の計画は、2か所の小学校の空き教室を改装して図書室をつくり、翻訳本を作成して寄贈します。これを機に読書を習慣づけるよう啓蒙することです。



ネパールの子供たちの識字率向上を願い!!

— 現地視察報告 (2016年2月8日～14日) —

柏西RC (第10分区)

柏西ロータリークラブでは、2015-2016年度国際ロータリークラブのテーマである『世界へのプレゼントになろう』を人道的、且つ教育的に実践するプロジェクトとして、大地震から約1年が経過するネパールの現地視察を行いました。

〔支援の目的と現地での活動〕

今回の支援プロジェクトは、ネパールの子供たちの識字率の向上と、支援継続の調査・視察を目的として、森市直樹会長を団長として、同クラブ計7名で現地入りしました。柏西ロータリークラブが主幹となり、同じ分区の他クラブ会員より集めた古着やノート1,000冊など筆記用具、また現地にて調達した雑貨を現地にて寄贈いたしました。

首都のカトマンズ到着後、ネパール出身の元米山奨学生マハルジャン・ディネシュ氏の仲介で現地での支援物資を調達しました。

2月10日午前を訪れたディープズワラ小学校(カトマンズ市内)の子供たちの服装は清潔で、比較的きれいな身なりをしていました。校庭の一角には、去年の地震で倒壊した瓦礫が残されていて、復興の遅れが見て取れました。

同日午後は、ガバナー事務所を訪問した後、ソロソフェイ小学校に行きました。この学校は街はずれの山の中腹にあり、地震で両親を亡くした子供たちや、エレベスト山岳地帯のふもとに住む子供たちが寄宿しており、子供たちの身なりも貧しいものでした。校舎は単に勉強をするだけではなく、生活の場になっていて、日本では考えられない生活環境でした。

歓迎セレモニーの後、一人一人に文房具セットを手渡しした際、手にした子供たちの嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。この学校は地震の被災者との接点もあることから、日本から持って行った古着をすべてここに託しました。



米山梅吉記念館便り

シリーズ① 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、慶応4年(明治元年・1868年)2月4日東京芝に生まれました。梅吉4歳の時に父竹造の死去に伴い家族は静岡県三島に移り住みます。

梅吉は、7歳頃から駿東郡長泉村の映雪舎に学び、その頃から成績優秀で囑目され、11歳の時に米山家から養子縁組の話が持ち込まれました。13歳で校長・江原素六の沼津中学に通い出すと、それまでの漢学に加え、蘭学、西洋文化など新しい学問に触れ知識欲がさらに膨らんでいきます。15歳で沼津中学を退学し単身上京、銀座の江南学校に入り、新たな未来に向かって歩み始めました。



米山梅吉15,6歳頃。
壁に半紙で「有一志」の文字。



米山梅吉 関連図書の紹介

A5判
上製本ケース付
本文590ページ
4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをうかがい上げさせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩等、趣味の人米山の文藻も掲載しています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101

URL <http://yoneyama-umekichi.jp>

Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま197号)

今月のトピックス

- ・寄付金速報 — 2016-17年度もほぼ好調にスタート —
- ・来春採用の奨学生募集がスタート
- ・2016-17年度地区米山奨学委員長対象のセミナーを開催
- ・熊本・大分、元気です！ — 第2720地区夏季研修会 —
- ・ソウルで活躍した関西米山学友会、今年も総会が大盛況

《お知らせ》

ソウル国際大会のDVDが完成！

《今月のピックアップ記事》

来春採用の奨学生募集がスタート

2017年4月の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で532校(前年度528校)。指定校からの被推薦者数は1,748人(前年度1,643人)で、この中から新規奨学生585人が選ばれます。

地区奨励奨学金(大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象)を導入した地区は13地区で、指定されたのは23校、そのうち初指定は6校でした。

また、指定校への要望として、地区独自の選考基準を提示したのは34地区中31地区で、最も多かった要望は「被推薦者の国籍が偏らないように配慮してほしい」、次いで「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。

募集要項・申込書は、7月29日に全指定校へメールで案内しました。

※2016学年度採用の指定校や募集要項などの書類は当会ホームページにて公開しています。

記事の続き、および、そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight197_pdf.pdf

コーディネーターニュース2016年9月号(2016年8月10日配信)
Zone 1 RC

■ 新クラブ設立

- ・第2620地区(第2ゾーン)に甲斐の郷ロータリークラブが6月27日に結成されました。
- ・第2680地区(第3ゾーン)に神戸モーニングロータリークラブが6月7日に結成されました。
- ・第2830地区(第1ゾーン)に八戸西ロータリークラブが7月20日に結成されました。八戸西RCは八戸中央西ロータリー衛星クラブを経て、日本で初めて承認されたケースです。
- ・第2750地区(第2ゾーン)に東京大井イブニングロータリー衛星クラブが7月2日に結成されました。スポンサークラブは東京大井RCです。

■ クラブ合併

2016年7月1日付で第2630地区(第2ゾーン)の不破ロータリークラブと不破の関ロータリークラブが合併しました。合併後は不破ロータリークラブになります。

事務所及び連絡先、例会情報は不破RC従来の内容で変更ありません。RI加盟承認日も不破RCの「1970年7月24日」を引き継ぎます。

■ 脱会クラブ

6月30日付で以下のクラブがRI理事会に承認され脱会しました。

第2510地区(第1ゾーン) 松前RC

第2590地区(第2ゾーン) 横浜たまRC

第2590地区(第2ゾーン) 横浜ひまわりRC

第2710地区(第3ゾーン) 油谷湾RC

第2790地区(第1ゾーン) 富津RC

第2820地区(第1ゾーン) 藤代RC

文 庫 通 信 (347号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーについて

- ◎「ロータリーの本質とは－アンケート回答」 1969 7p
- ◎「ロータリーでいう職業奉仕」 神守源一郎 D.358 1972 57p
- ◎「ロータリーでいう職業奉仕」 神守源一郎 京都東R.C. 1983 18p
- ◎「ロータリーの綱領の変遷と『奉仕の理想』」 先名正四 1989 4p
- ◎「ロータリーの立場」 近藤正夫 1974 3p
- ◎「大乱亥歳を顧みてロータリーを考える(フォーラム記録)」 佐藤千寿
関西ロータリー研究会 1996 31p
- ◎「21世紀のロータリー」 堀場雅夫 関西ロータリー研究会 1996 71p
- ◎「世界のロータリー」 入江直祐 1981 8p
- ◎「デンバー大会の焦点 RI－RIBI問題」 宮脇 富 1966 1P

[上記申込先：ロータリー文庫]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

叙勲・褒章・表彰 (敬称略)

藍綬褒章



大塚 精一
(松戸北RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 (メジャードナー)



森島 庸吉
(船橋西RC)
93回目



崎山 征雄
(習志野中央RC)



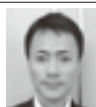
五郎畑 巖
(松戸中央RC)



森島 庸吉
(船橋西RC)

使途指定寄付

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



水野 晋治
(柏西RC)
8回目



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
7回目



日暮 肇
(柏西RC)
6回目



大岩 将道
(銚子RC)
4回目



亦平 力
(八街RC)
4回目



塚本 英夫
(柏西RC)
4回目



神野 美明
(柏RC)
4回目



猪早 恵美子
(柏RC)
4回目



中山 浩一
(柏RC)
3回目



小笹 一夫
(柏RC)
3回目

寄付者紹介 (敬称略)

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



糸久 仁一
(八街RC)
2回目



永尾 太樹
(柏RC)
2回目



結城 綾子
(柏RC)
2回目



新井 ミエ
(習志野中央RC)
1回目



吉谷 徳一
(習志野中央RC)
1回目

(新ポール・ハリス・フェロー)



張ヶ谷 政喜
(柏RC)



井上 英博
(柏RC)



川村 由里子
(柏RC)



西田 禮子
(習志野中央RC)

ボリオ・プラス



森島 庸吉
(船橋西RC)



鈴木 桂三
(柏西RC)



中野 尚宏
(習志野中央RC)



高橋 賢
(習志野中央RC)

恒久基金 (ベネファクター)



中島 広明
(習志野中央RC)
1回目



長濱 芳一
(鎌ヶ谷RC)



稲垣 典子
(柏RC)



森市 直樹
(柏西RC)



馬場 弘
(柏西RC)

(新ベネファクター)

米山 功 労 者



森島 庸吉
(船橋西RC)
93回目



崎山 征雄
(習志野中央RC)
22回目



得居 仁
(松戸東RC)
15回目



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
15回目



小林 通成
(習志野RC)
15回目



鳥飼 三津男
(習志野RC)
13回目



金親 博榮
(千葉南RC)
8回目



由川 久子
(習志野RC)
7回目



長濱 芳一
(鎌ヶ谷RC)
6回目



石井 賢徳
(習志野RC)
6回目



亦平 力
(八街RC)
4回目



増田 彰司
(習志野RC)
3回目



清水 晴好
(習志野中央RC)
3回目



三代川 文史朗
(習志野中央RC)
3回目



嶋崎 正幸
(習志野RC)
1回目



吉谷 徳一
(習志野中央RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



石川 耕治
(船橋西RC)
保険業
6月10日入会



郡 亮仁
(千葉中央RC)
仏教
6月23日入会



熱田 文彦
(八日市場RC)
郵便事業
7月1日入会



鈴木 淳一
(八日市場RC)
精米小売
7月1日入会



岡部 武治
(野田セラルRC)
照明具製造
7月1日入会



岩瀬 洋男
(勝浦RC)
総合商業、食料品・雑貨
7月2日入会



前田 亮
(君津RC)
港湾運送業
7月4日入会



上平 光孝
(柏南RC)
教育
7月5日入会



岩佐 祥一
(流山中央RC)
印刷業
7月5日入会



白土 健司
(八街RC)
商業銀行
7月6日入会



押尾 武志
(千葉中央RC)
医療サービス
7月7日入会



砂沢 和暁
(千葉若潮RC)
建設業
7月7日入会



川口 伸一
(木更津RC)
商業銀行
7月7日入会



西村 幸治
(木更津RC)
電力事業
7月7日入会



緑川 孝一
(茂原RC)
製材
7月7日入会



青柳 宏章
(市川東RC)
不動産管理
7月11日入会



佐藤 八重子
(市川東RC)
介護サービス
7月11日入会



武田 月男
(市川東RC)
建築業
7月11日入会



大住 昌弘
(君津RC)
鋼材加工
7月11日入会



錫田 和之
(柏南RC)
建設業
7月12日入会



大山 球一
(柏RC)
アミューズメント運営
7月13日入会



木頭 孝男
(千葉中央RC)
公認会計士
7月14日入会



小林 直人
(柏西RC)
廃棄物収集運搬業
7月15日入会



横田 一樹
(柏西RC)
普通銀行
7月15日入会



飯島 一扶
(成田コスモポリタンRC)
印刷
7月20日入会



鈴木 明夫
(松戸RC)
地方銀行
7月20日入会



御子神 洋一
(茂原RC)
商業銀行
7月21日入会



都瑠 浩司
(千葉RC)
建築
7月25日入会



尾形 也寸夫
(袖ヶ浦RC)
火力発電
7月25日入会



大内 力
(四街道RC)
リハビリテーションセンター
7月26日入会



渡辺 章喜
(成田コスモポリタンRC)
免税店
7月27日入会



小林 淳一
(勝浦RC)
石材工業
7月29日入会



渡邊 健敏
(習志野RC)
ガス工事
8月3日入会



橋爪 卓博
(佐倉RC)
機械製造業
8月3日入会



大森 卓二
(浦安RC)
不動産業
8月5日入会



太田 譲
(浦安RC)
獣医
8月5日入会



梅谷 純生
(浦安RC)
コンクリート工業
8月5日入会



田中 博悦
(浦安RC)
貨物運送業
8月5日入会



山崎 裕之
(柏西RC)
不動産管理業
8月5日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 出席・会員数報告(2016年7月分)

分 区	クラブ名	出席率 (%)	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市 川	80.00	3	37	0	37	0	0
	市 川 東	100.00	4	41	0	44	1	3
	市 川 南	87.00	4	17	2	17	2	0
	浦 安	88.00	4	35	2	37	2	2
	市川シビック	89.26	3	35	0	35	0	0
	浦 安 ベ イ	100.00	3	13	0	12	0	△ 1
第2分 区	平 均	90.71	3.50	29.67	0.67	30.33	0.83	4
	船 橋	94.45	4	27	0	27	0	0
	船 橋 西	92.30	5	40	6	41	6	1
	鎌 ケ 谷	81.20	4	32	2	32	2	0
	船 橋 東	83.95	4	31	2	31	2	0
	船 橋 南	81.82	4	16	4	16	4	0
第3分 区A	船 橋 み な と	83.75	4	21	5	21	5	0
	平 均	86.25	4.17	27.83	3.17	28.00	3.17	1
	千 葉	91.43	3	80	3	80	3	0
	新 千 葉	77.34	4	50	0	50	0	0
	千 葉 西	84.05	4	53	3	54	3	1
	千 葉 中 央	81.16	4	32	0	34	0	2
第3分 区B	千 葉 幕 張	80.08	4	37	2	38	2	1
	千 葉 東	86.48	3	33	4	33	5	0
	千 葉 若 潮	83.95	3	31	1	31	0	0
	平 均	83.50	3.57	45.14	1.86	45.71	1.86	4
	千 葉 南	79.22	5	52	7	52	7	0
	市 原	76.09	4	38	2	40	2	2
第4分 区	千 葉 港	82.14	4	23	2	24	3	1
	市 原 中 央	86.41	4	50	2	50	2	0
	千 葉 北	74.07	4	27	3	27	3	0
	千 葉 緑	82.14	4	27	2	26	1	△ 1
	平 均	80.01	4.17	36.17	3.00	36.50	3.00	2
	木 更 津	79.52	4	27	3	28	3	1
第5分 区	上 総	79.52	4	17	0	17	0	0
	富 津 中 央	78.07	4	28	1	31	1	3
	木 更 津 東	84.25	4	40	0	40	0	0
	君 津	93.13	4	50	2	51	2	1
	袖 ケ 浦	94.32	3	24	3	25	3	1
	富 津 シ テ イ	93.75	3	15	1	16	0	1
第6分 区	平 均	75.32	4.00	25.13	1.25	26.00	1.13	7
	館 山	82.70	4	53	3	53	3	0
	鴨 川	90.24	4	31	5	31	5	0
	勝 浦	96.28	5	37	4	39	4	2
	千 倉	82.50	4	10	2	10	2	0
	鋸 南	88.90	3	13	1	14	1	1
第7分 区	館 山 ベ イ	70.46	4	20	0	23	0	3
	平 均	85.18	4.00	27.33	2.50	28.33	2.50	6
	茂 原	89.46	3	65	3	67	5	2
	東 金	89.34	4	20	1	20	1	0
	大 原	97.50	4	10	1	10	1	0
	大 多 喜	90.00	4	5	1	5	1	0
第8分 区	成 田 空 港 南	75.74	3	36	0	36	0	0
	平 均	83.45	3.44	25.00	1.33	25.44	1.56	4
	銚 子	79.89	4	39	4	39	4	0
	旭	66.00	4	44	3	44	3	0
	八 日 市 場	91.75	4	39	2	42	3	3
	銚 子 東	75.87	4	36	2	36	2	0
第9分 区	平 均	78.38	4.00	39.50	2.75	40.25	3.00	3
	佐 原	76.86	4	47	0	47	0	0
	多 古	87.88	3	15	0	15	0	0
	小 見 川	89.06	4	23	0	23	0	0
	佐 原 香 取	77.90	3	24	1	24	1	0
	平 均	82.93	3.50	27.25	0.25	27.25	0.25	0
第10分 区	成 田	74.84	4	59	0	60	0	1
	八 街	90.42	4	27	2	28	2	1
	印 西	80.00	4	23	1	23	1	0
	白 井	60.78	3	17	0	17	0	0
	富 里	63.21	3	28	0	29	0	1
	成田コスモポリタン	82.04	4	67	0	67	0	0
第11分 区	平 均	75.22	3.67	36.83	0.50	37.33	0.50	3
	柏	79.30	3	56	9	57	9	1
	我 孫 子	79.54	4	22	1	22	1	0
	柏 西	83.05	5	61	4	63	4	2
	柏 東	84.50	4	32	4	32	4	0
	柏 南	83.50	4	30	5	32	5	2
第12分 区	平 均	81.98	4.00	40.20	4.60	41.20	4.60	5
	習 志 野	79.89	4	26	1	26	1	0
	八 千 代	91.90	5	49	0	50	0	1
	佐 倉	81.25	4	24	3	24	3	0
	八 千 代 中 央	76.70	3	29	2	29	2	0
	四 街 道	85.69	4	25	2	26	2	1
第13分 区	習 志 野 中 央	82.30	4	45	5	50	5	5
	佐 倉 中 央	63.09	4	21	4	21	4	0
	平 均	80.12	4.00	31.29	2.43	32.29	2.43	7
	松 戸	88.46	4	56	0	57	0	1
	松 戸 東	94.32	5	46	0	46	0	0
	松 戸 北	80.15	4	38	0	38	0	0
第14分 区	松 戸 中 央	84.43	4	43	6	43	6	0
	松 戸 西	86.21	4	29	0	29	0	0
	平 均	86.71	4.20	42.40	1.20	42.60	1.20	1
	野 田	81.98	3	58	8	58	8	0
	流 山	78.56	4	14	4	14	4	0
	野 田 東	73.69	4	23	0	24	0	1
第15分 区	流 山 中 央	82.50	4	23	2	24	2	1
	野田セントラル	82.61	4	23	0	24	0	1
	平 均	79.87	3.80	28.20	2.80	28.80	2.80	3

クラブ数83RC

2016年7月1日

地区会員数

2,729人

当月平均出席率

83.23%

2016年7月末日

地区会員数

2,779人

増減

+50

2016年7月1日

地区女性会員数

166人

女性会員増減

+3

2016年7月末日

地区女性会員数

169人

9月のロータリーレート

102円

KIRA CLUB in DISTRICT 2790

船橋みなとRC

教育月間である今月の元気クラブは、今年で17回目を迎えられた「愛のコンサート」事業にとりくまれている船橋みなとRCをご紹介します。

「愛のコンサート ～青少年に夢と感動を!!～」

本事業は、船橋市内の各公立中学校の生徒を対象とし、ソプラノ歌手、佐藤のりこさんのご協力を得て全生徒が体育館に一同に会し、歌声とピアノ伴奏により音楽は心を繋ぐもの、勇気や感動を与えてくれる「愛のコンサート」です。

将来に不安感を口にする青少年が多い中、将来“自分がやりたい事”“なりたいもの”が決まったら最大限努力を惜しまないで欲しい。そして、目標を持って努力していれば、それは必ず実現する、希望を持って進んで欲しいと、佐藤のりこさんの体験を交えながら繰り返し生徒の皆さんにお話しをします。

校長先生がおっしゃいました。

「将来に対する自己決定(夢)をうながす」「自分と周りを愛に満ちた気持ちで支える」これらの目標に役立たせてくれて・・・。

生の歌声の素晴らしさもさることながら、佐藤のりこさんが全生徒に問いかけるお話しや実体験が、多感な中学生の皆さんの心に響き、将来自分がなりたいことを壇上に上がり、発表する生徒達!

社会生活における人間の幸福は、他人への思いやり助け合いにあるとし、社会奉仕、青少年育成を地域社会の許にロータリークラブとして出来ることを探しながら継続事業として続けていきたいと石井忠之社会奉仕委員長から力強いメッセージをいただきました。



国際ロータリー第2790地区 2016-17年度

地区大会のご案内

地区目標 **感謝と挑戦**

会期

2016年9月24日(土)・25日(日)

1日目 2016 9/24(土)
成田ビューホテル

12:30 登録開始
13:00 開会点鐘
RI会長代理ご夫婦
歓迎晩餐会
17:45 開会

2日目 2016 9/25(日)
成田国際文化会館

8:30 登録開始
9:30 開会点鐘
13:20 記念講演
15:00 閉会点鐘
大懇親会
15:15 開会

9月の地区行事予定

9月3日(土)
会員増強退会防止
委員会セミナー
(会場：三井ガーデンホテル)

9月3日(土)
フェロシップ委員会
六本木マハラジャde
交流会
(会場：六本木マハラジャ)

今月の表紙



大原はだか祭り 開催場所 ▶ 千葉県いすみ市 開催日 ▶ 2016年9月23日～9月24日

大原はだか祭りは、古く江戸時代から行われております。大原地区の神輿十社は親神である鹿島神社に参集し法楽施行を。午後は、地区行事を終えた東海・浪花両地区の神輿八社も大原漁港へ集結し、十八社が揃って五穀豊穡・大漁祈願祭の後に勇壮豪快である汐ふみが行われます。約1キロに及ぶ商店街通りは、人と神輿が埋まり祭り一色にぬりつぶされ大原小学校校庭へ向かいます。校庭に入った神輿は、さながら競争の如く力の限り駆け巡り、クライマックスは神輿を高く上げて別れを惜しむ大別れ式。地域中が一体となって盛り上がる勇壮な祭りです。

(いすみ市水産商工観光課提供)